

漫画原画500枚以上!

カラーイラスト、挿絵原画、

絵本原画、資料等も多数展示!



《夕凧の街 桜の国》カバー、2004年 ©この史代/コアミックス

『夕凧の街 桜の国』(手塚治虫文化賞新生賞、文化庁メディア芸術祭マンガ部門大賞)『この世界の片隅に』(文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞)で知られる、この史代の全貌に迫る初の大規模原画展ついに開催!



《この世界の片隅に》上巻総原、2006年 ©この史代/コアミックス



《ギガタウン 漫符図譜》2016年 ©この史代/朝日新聞出版 《ひびり帳》1巻カバー、2000年 ©この史代/コアミックス

この史代(1968-)は、漫画というフィールドで、実に多彩な表現活動をしてきました。お花屋さんが舞台のコミカルなショートストーリー連載『街角花だより』(1995)でデビューし、インコとの日常を描く4コマ漫画『ぴっぴら帳』(1997-2004)で人気を博します。ニワトリと少女のユニークな日々を綴った『こっさきん』(1999-2001)も忘れることはできません。“命あるものと共にある日常”を見つめた、これら初期作品の世界観があって、『夕凧の街 桜の国』(2003/2004)、『この世界の片隅に』(2006-2009)へつながっていくことになります。

もちろん、それは到達点ではありません。この史代はさらに先へ進みます。漫画という表現に、誰よりも強い好奇心を持っているからです。

非凡なアイデア満載の『平凡倶楽部』(2009-2010)で読者を驚かせたかと思えば、『ぼおるべん古事記』(2011-2012)ではボールペンだけで『古事記』を忠実に漫画化しました。東日本大震災の翌年から連載を開始した『日の鳥』(2012-)は、妻を探す雄鶏の目を借りて、移りゆく時の流れをスケッチしています。漫符を素材にした画期的な漫画図鑑『ギガタウン 漫符図譜』(2015-2017)、『百人一首』と遊んだ華麗なカラー1コマ漫画『百一 hyakuichi』(2018-2020)、『般若心経』をコロナ禍と重ね、2色の線が絡み合う最新長編『空色心経』(2023-2025)など、新しい漫画の可能性へ向けて、挑戦は続きます。

この史代の特徴として、アシスタントを使っていないことが挙げられます。そのため、どの線にも彼女の気持ちがこもっています。たった一人で描いた「一枚の絵」として原画を見ることで、これまで気づかなかった線の魅力、色の力を感じていただけることでしょう。

本展では、10代の時の漫画原稿から最新作まで、500枚以上の原画を展示します。そのほかデビュー以前の貴重な資料の数々、膨大な挿絵原画、絵本原画、作品のコンテやメモ、ブログ「この史代の日々」に登場するスケッチブック、制作風景を記録した初公開の映像など、この史代の画業のすべてがわかる展覧会です。楽しみに待っていてくださいね。

この史代さんがトークするよ!

この史代さんが、漫画のこと、日々の暮らしのことをおしゃべりします。

日時:5月2日(金)開演13:30(開場13:00)
会場:金沢21世紀美術館 シアター21
定員:150人
参加無料(ただし本展の参加券付チケットが必要です)
出演:この史代(漫画家)、福永信(本展監修者/小説家)

会場版コーナーでこの史代さんのご著書をお買い上げいただいた方から、先着20名様にサイン会整理券を配布します。トークショー終了後に同会場で行います。お名前を入れていただきますのでご了承ください。

この史代さんがライブペインティングするよ!

この日は展示会場で絵を描いています。

日程:5月3日(土・祝)、20日(火)、21日(水)
時間:各11時ごろから描いている予定です。少し早かったり、逆に遅く描き始めたりするかも。休憩もするのでいいときもあります。
会場:本展会場内
※各イベントは予告なく変更される場合がありますので、HP(https://www.hokuchu-event.com/pickup/kouno_fumiyo/)を確認してください。

『この世界の片隅に』特別上映

シネモンド(香林坊東急スクエア4階)でアニメーション映画『この世界の片隅に』を特別上映! 上映に関する最新情報はこちら▶



この史代

1968年広島市生まれ。広島大学中退、放送大学卒。1995年に漫画家デビュー。『長い道』『かつばのねね子』『さんさん録』など作品多数。アニメーション映画『この世界の片隅に』(片淵須直監督)が大ヒットを記録した。ブログ「この史代の日々」では最新作『空色心経』の制作過程、日々の写真やスケッチを公開している。



公式図録 [5/2発売予定]

この史代の仕事の全貌がわかる図録兼書籍。ロングインタビュー、貴重な単行本未収録作品やデビュー前の未発表作品、詳細な解題や年譜なども収録。アンソロジー集として読み応えたっぷり! 装幀:佐々木暁

グッズ

本展のための多数の特製グッズ、この史代さん自のおみくじなど、見てたのしい、買ってうれしい、この史代グッズが勢揃い!



《かつばのねね子》2018年 ©この史代/朝日新聞出版

入場料 大人 1,200円(900円) 高校・大学生 900円(700円) 小・中学生 700円(500円) ()内は前売料金
5/2金トークショー参加券付チケット 限定150枚 大人 900円 高校・大学生 700円 小・中学生 500円 前売のみ ※Boo-Wooチケット・ローソンチケットで購入できます。

こどもの日デー 5月5日(月・祝)は小学生以下の入場料が無料。ただし、保護者同伴でのご入場をお願いします。※小学生の前売券をご持参でも返金はいりません。

※未就学児は無料。※障害者手帳、療育手帳をご提示の場合は、ご本人様は前売り料金でご入場いただけます(障害者付き添いの方は1名まで無料)。※プレミアムバスポートご提示で大人当日料金から100円引きでご入場いただけます。※シニア(65歳以上)の方は、平日(祝日を除く)月~金曜日)に大人当日料金から100円引きでご入場いただけます。

チケット取扱場所

★中日サービスセンター(中日新聞北陸本社1F)、★石川県立音楽堂チケットボックス、★香林坊大和ブレイクガイド、★アピタ松任ティオ、★うつつのみや各店、★金沢中日文化センター(金沢エムザ2F)、Boo-Wooチケット・ローソンチケット(Lコード:51353)、チケットぴあ(Pコード:687-161)、セブンチケット、イープラスなど。★北陸中日新聞販売店で取り次ぎます。★は前売券のみ販売

お問い合わせ/北陸中日新聞事業部 Tel.076-233-4642(平日10時~17時)

金沢21世紀美術館

石川県金沢市広坂 1-2-1 https://www.kanazawa21.jp

【バス】JR金沢駅バスターミナル 兼六園口(東口)より(路線バス)3番、8番乗り場よりバスにて約10分「広坂・21世紀美術館」にて下車。8~11番乗り場よりバスにて約10分「香林坊(アトリオ前)」下車。徒歩約5分。
※最新の運行状況は、各交通機関のホームページなどでご確認ください。
【自家用車】北陸自動車道から「金沢西」「金沢東」「金沢森本」ICからそれぞれ約20~25分。

